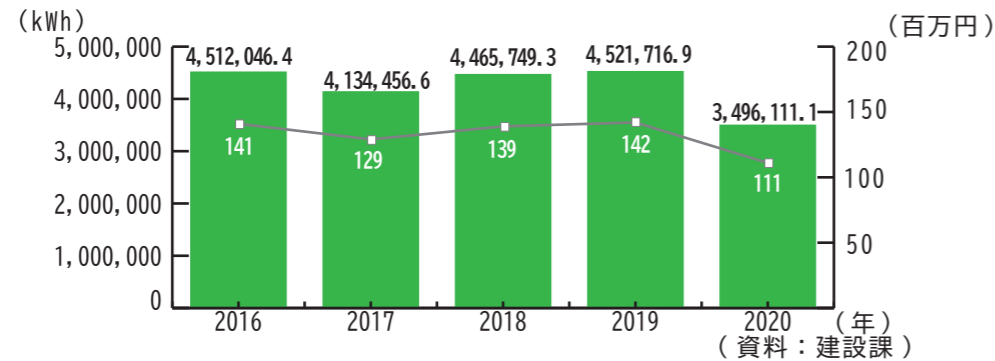




現状

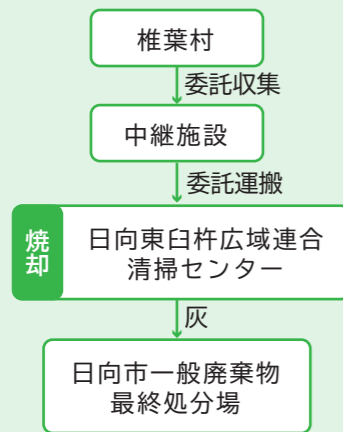
■本村では、これまで再生可能エネルギーに関する取り組みとして「村営発電事業（小水力発電事業）」を行なってきました。

【村営発電事業（小水力発電事業）発電量と売電収入の推移】

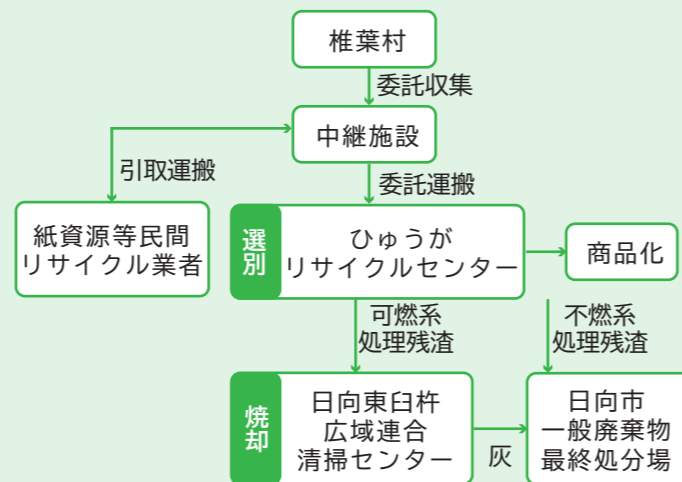


■本村で発生するごみに関しては村内のクリーンセンターを中継し、日向東臼杵郡広域連合清掃センターを起点に処理される流れとなっています。

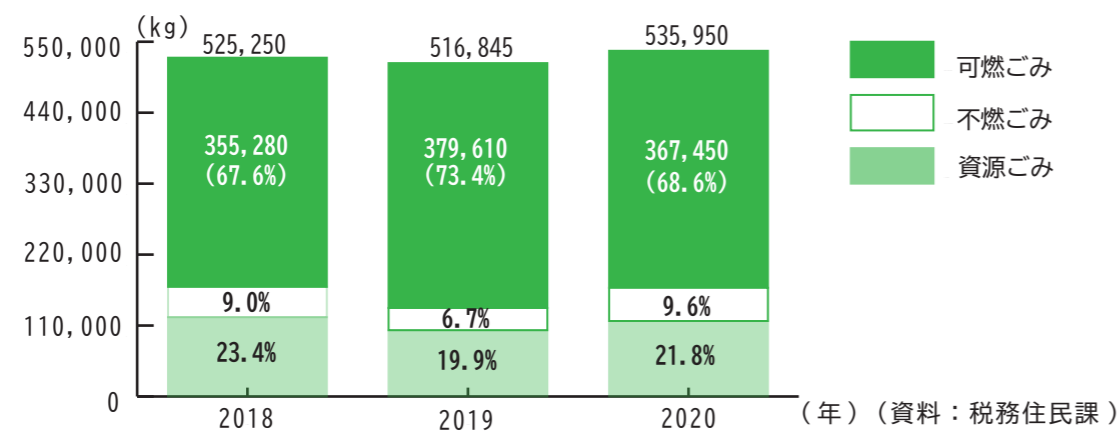
【燃やせるごみの流れ】



【燃やせないごみの流れ】



【一般廃棄物の総量と割合の推移】



目標

限りある資源を最大限有効活用すること、並びに循環的利用を促進することを通して持続可能な社会の実現に貢献します。

数値目標	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)	備考
年間売電収入額	1.1億円	1.4億円	小水力発電事業による年間売電収入額。
合併処理浄化槽設置率	89.2%	91.0%	税務住民課の独自目標。
合併処理浄化槽設置基数	775基	790基	設置基数：3基/年を目標とする。
年間の一般廃棄物量	536t	505t	
一般廃棄物の内資源ごみが占める割合	21.8%	25.0%	

➡ 関連する個別計画 なし

行動指針

- 課横断的なチームで既往の小水力発電事業に加えて、新たなクリーンエネルギーによる発電体制の推進を検討していきます。
- 日向東臼杵郡広域連合（以下、広域連合）において次期最終処分場が決まる予定です。税務住民課が中心となり、広域連合と連携しながら、ごみの減量と分別に関する啓蒙・広報活動を積極的に行います。
- 税務住民課が中心となりながら引き続き、合併処理浄化槽の導入推進を図ります。

チーム



施策の体系

再生可能なものが増える

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
年間売電収入額	1.1億円	1.4億円
一般廃棄物の内 資源ごみが占める割合	21.8%	25.0%

再生不能なものが減る

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
年間の 一般廃棄物量	536t	505t

(1)自然資源の利用を増やします。

【主な事業】 村営発電事業
林地残材抑制推進事業

(2)リユースを増やします。

(3)リサイクルを増やします。

(4)ゴミの減量を推進します。

【主な事業】 ごみ焼却施設費

(5)下水の適切な処理を推進します。

【主な事業】 合併処理浄化槽設置補助金

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
合併処理浄化槽 設置率	89.2%	91.0%
合併処理浄化槽 設置基数	775基	790基

(6)その他、食品ロスや過剰包装を減らすよう促します。